

広島県保険医協会市民公開講演会

平成30年7月豪雨による斜面災害と 自然災害への備えを考える

2018（平成30）年7月の西日本豪雨では、私たちが住む広島県内の多くの地域で、土砂崩れなどの被害が発生しました。100名を超える方々が命を落とされたことをはじめ、家屋の損壊や交通の寸断によって、住民の生活にも甚大な影響を及ぼしました。

広島市は、2014年（平成26年）にも、安佐南区で多くの犠牲者を出す土砂災害も発生。私たちの住む広島県は、土砂災害の警戒区域や危険箇所の最も多い地域ということがわかってきています。

このような中、地元の国立大学では「広島大学平成30年7月豪雨災害調査団」を設置、斜面崩落発生地域の調査が行われました。調査によると、土砂崩れなどは5000カ所以上で発生しており、「異例」と言われる山頂付近での崩落が起こっていたことも判明しました。

今回の公開講演会では、平成30年7月豪雨災害の調査を行った講師をお招きし、土砂災害の危険性とその備えについて考えます。多数のご参加をお待ちしています。

広島会場

3月16日 土曜日

15:00～17:00

TKPガーデンシティ
PREMIUM広島駅前
「ホール4A」

広島市南区大須賀町13-9 ベルヴェオフィス広島

講師

後藤 秀昭 氏

広島大学平成30年7月豪雨災害調査団
広島大学大学院文学研究科准教授

福山会場

3月17日 日曜日

10:30～12:30

まなびの館ローズコム「中会議室」

福山市霞町一丁目10-1

参加費無料

どなたでもご参加いただけます
準備の都合上、できるだけ事前に参加のご予定
をお知らせください。

お電話、ファックス、メールにて、参加のご連絡を承ります。

保険でより良い医療、歯科医療を
保険医協会は広島県内の医師・歯科医師の会です

主催 広島県保険医協会

TEL082-262-5424 FAX262-5427
行事専用メールアドレス（3/12迄）
h-gyoji@hiroshima-hokeni.jp
広島市南区金屋町2-15-4F

